

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2021年9月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで59年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2022年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2021年9月度ギャラクシー賞月間賞

かまいたちの知らんけど 特別編「37年間通ったスーパー イズミヤへ濱家最後の挨拶」

9月12日放送 14:00~14:54 毎日放送

濱家が幼い頃から通った地元のスーパー・イズミヤが閉店になるということで感謝と別れを伝えに行く。一カ所ごとに思い出話があふれ止まらない濱家。それほどこまでも個人的な思い入れだが、だからこそ、自分の“大切な場所”を失ったときの記憶が想起され心が揺さぶられる。バラエティならではの手法でその「思い」を“饒舌”に描いた。

ハコヅメ～たたかう！交番女子～

7月7日～9月15日放送 22:00～23:00 日本テレビ放送網 日テレ アックスオン

主演の永野芽郁をはじめ、キャストがみんなハマリ役。チーム「ハコヅメ」はタイトルバックに映る夏空のように、見る者の気持ちを明るくしてくれた。先輩と後輩、上司と部下、同期の仲間、警察内部に、こんなにも心の通い合いが描かれるドラマがあっただろうか。「拝啓、お父ちゃん」の声と共にまた町山署の面々が帰ってくる日が待たれる。

NNNドキュメント'21「帰ってきたロフマン ぼくが介護をやめたわけ」

9月19日放送 24:55～25:25 テレビ信州

インドネシア人ロフマンは2008年から上田市の介護施設で経験を積んで信頼された。その後の本人の経歴を通して、日本の介護の窮状が語られる。国は技能実習生の制度を介護にも適用したが、ロフマンは母国に介護実習生送り出しの組織を作って新たな事業を始めた。したたかなロフマンを通して、日本の介護と外国人労働者の新たな関係も見えてきた。

希林と裕也～トリックスター夫婦の昭和平成史～

9月25日放送 19:30～21:00 日本放送協会 テレビマンユニオン NHKエンタープライズ

樹木希林と内田裕也という2人の人生のフィルターを通して、戦後日本の大衆文化に迫る手法が興味深く、また成功している。しかももう一方で、そうすることにより2人の人となりも自ずと浮き彫りになる。なぜ、2人が夫婦でなければならなかったのかが、証言や資料を踏まえた全体を通して伝わってくる。見ごたえ十分の力作。

★詳細は月刊誌「GALAC」2021年12月号に掲載します